

# 大内中 学校通信 紺碧

## 学校教育目標

- 1 意欲をもって学習する生徒
- 2 健康で実践力に富む生徒
- 3 豊かな心情をもつ生徒
- 4 すすんで働く生徒

真岡市立大内中学校 Tel 0285-82-2541  
〒321-4405 真岡市飯貝1159  
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/ouchihsc>



大内中学校・  
キャラクター  
『モウチカウ』

真岡市立大内中学校  
令和6年度 第3号  
令和6年6月発行

## 校長室から

### 6月15日は「県民の日」

関東地方も梅雨入り間近と成り、雨に濡れたアジサイの花が、ことのほか美しい季節となりました。

さて、6月15日(土)は「栃木県民の日」です。栃木県のホームページによると、「県民一人ひとりが、郷土を見直し、理解と関心を深め、県民としての一体感と自治の意識をはぐくみ、より豊かな栃木県を築きあげることを期する日」として制定されたとのこと。明治6年(1873年)に栃木県と宇都宮県が合併し、おおむね現在と同じ地域の栃木県が成立した日である6月15日を県民の日としました。

「とちぎのシンボル」である「県木：トチノキ(栃の木) / 県獣：カモシカ / 県花：ヤシオツツジ / 県鳥：オオルリ」などは広く知られているところですが、栃木県のホームページに「とちぎの生いたち」が掲載されていたので、その一部を紹介します。

#### ◆旧石器時代から平安時代まで

大和朝廷の勢力が東へ拡大したころの本県は、下毛野国(しもつけぬのくに)と那須国がありました。7世紀後半、統一されて下野国、すなわち栃木県の原型が形作られました。下野国は9郡に分かれ、政治の中心として国府が置かれました。国府付近には、国分寺・国分尼寺・下野薬師寺がつけられて、都から伝えられた華やかな文化が栄えました。

#### ◆鎌倉時代から江戸時代まで

鎌倉幕府が成立すると、小山・宇都宮・足利・那須などの下野の武士も御家人として活躍しました。なかでも小山氏は、下野国の守護を務め、一族は結城・長沼等に分かれて栄えました。また、宇都宮氏の「宇都宮歌壇」は都までその名声をうたわれ、足利学校は「坂東の大学」として宣教師によってヨーロッパにまで隆盛の様子が伝えられました。

徳川家康が幕府を開くようになると、中世以来の豪族は相次いで下野から姿を消し、天領や旗本領に細分化され大名や旗本が支配するようになりました。日光は幕府の聖地として、東照宮をはじめとする華麗な建物が作られ、特別に保護、崇敬されました。

また、二宮尊徳は、近世後期の荒廃した農村のたて直しを図るため、桜町(現在の二宮地区)の旗本領の復興に努め、以後各地で報徳仕法と呼ばれる改革事業を実施しました。

#### ◆幕末から近・現代まで

戊辰戦争を経て明治維新を迎えると、政府は中央集権を推し進めるため廃藩置県を断行し、旧来の封建支配の一掃を図りました。さらに県の整理統合が進められ、明治6年(1873年)6月15日に今日の栃木県が成立しました。県庁は、最初栃木町(現在の栃木市)に置かれましたが、明治17年(1884年)に宇都宮町(現在の宇都宮市)に移されました。

このように、二宮尊徳翁が桜町で行った復興事業については、「とちぎの生いたち」の中にしっかりと記載されており、本県にとっても大きな出来事だったことが分かります。

本校では、6月14日に給食センターが「県民の日献立」として用意してくれた栃木県産の食材を使用した料理をおいしくいただきながら、校内放送で流れてくる「県民の歌」に耳を澄まし、郷土愛を深めることができました。

本校の目指す生徒像は、「故郷に誇りを持ち、夢を語れる生徒」です。生徒たちが生きるこれからの時代は、グローバル化が一層進展し、国境を越えた様々な交流が当たり前に行われます。そのような時代だからこそ、自分が生まれたふるさとのことをしっかりと知り、そのよさを実感し、自己がよって立つ基盤にしっかりと根を下ろすことが大切だと考えます。本校では、今後も郷土愛の醸成に力を注ぎ、世界で活躍できる人材の育成を図って参ります。

## 【春季大運動会 5/25 (土)】

今年度から春に行くことになった大運動会は、晴天のもと盛大に行われました。徒競走、障害走の後に行われた大縄跳びでは、それぞれのクラスが好記録を出すことができました。応援合戦ではこれまでの厳しい練習が実を結び最高の発表になりました。学年種目では各学年各学級が一つになったのを感じました。ソーラン節は3年生を中心に最高の演技を披露しました。混成リレーや選抜リレーでは各学級の意地のぶつかり合いで最後まで目が離せない展開でした。保護者の方や地域の方からたくさんの御声援をいただきありがとうございました。



## 【大内は昔〇〇だった 6/5 (水)】

京泉区長で前後援会長の大塚茂美さんと京泉にお住まいの松本薫さんを講師に迎え、1年生の総合的な学習の時間を使って大内地区（特に京泉地区）の歴史について調べる学習を行いました。シドミ原古墳群、塔法田（堂法田）遺跡などを調べることを通して、大内地区の歴史に触れ、生徒達は大興奮でした。生徒達からは「大内は昔役所だった」「大内は栄えていた」など意見が飛び出しました。今後も引き続き地域学習として、これらの遺跡を調査していきます。



※学校のホームページも御覧ください。

